

平成18年度
下請業者の経営力・施工力の
充実・強化促進モデル構築支援事業

動画を用いた作業マニュアルによる 技術・ノウハウの共有化と伝承

富山県富山市の旭鉄筋(株)は、中国人研修生や若手社員の教育・指導、社員間の技術承継や知識の共有化を図るため、動画を用いた作業マニュアルの制作に取り組んでいる。現段階では加工機器の操作や安全作業を対象としているが、次の段階では現場作業編の制作を予定している。



動画マニュアルの撮影風景(当社加工工場内)



動画マニュアルの一場面(試作品のNGシーン)

旭鉄筋株式会社

代表者 ● 井本 秀治(代表取締役)

所在地 ● 富山県富山市

資本金 ● 1,000万円

従業員数 ● 27名

事業内容 ● 昭和45年創業、平成3年法人化。鉄筋工事業主体。鉄筋の切断から曲げ加工、鉄筋工事までを手がける。平成13年から人材確保の方策として外国人研修制度を活用しており、富藩国際協同組合(富山市)を通じて中国人研修生(実習生)を受け入れている。

URL ● <http://ww2.ctt.ne.jp/~asahi/>



1. 事業の背景と動機

従業員教育と技術・ノウハウの共有化のために

鉄筋業界では人材確保が大きな課題となっているが、当社では、その方策として平成13年から外国人研修制度を活用しており中国人研修生を受け入れている。研修生(実習生)の滞在期間は3年間であり、新しい研修生には一から教育・指導を行う必要があるため、教育・指導内容の伝達が問題となる。また、社員間の知識の共有化についてもスムーズにできていないという課題を抱えている。

2. 進出時の苦労やその対応

動画マニュアルのコンテンツ固めに苦戦

動画マニュアルの完成イメージがわからず、しばらくビデオ撮影に取り掛かれなかったため、大まかなコンテンツの状態での撮影・編集の委託先に試作品を1本作ってもらった。この試作品をもとにコンテンツを固めていった。また、「仕事を知らない人には全く理解できない」という「理解度の溝」が判明したため、校正の段階で現場作業を知らない者にもチェックをしてもらうこととした。

3. 新事業の概要

鉄筋加工機の操作と安全作業の動画マニュアル

使いやすく実践的な動画作業マニュアルを制作している。鉄筋加工機の操作と安全作業について撮影し、字幕、ナレーション付きの動画マニュアルとする(日本語版、中国語版の2セット作成)。撮影した映像はDVDに収録して休憩室などに備え置き、必要な時に必要な巻を持ち込んで現場のモニターで見る方式を考えている。

4. 事業の推進体制

ITコーディネータのサポートを受け自社中心で推進

井本社長がプロジェクトマネージャーとなり、機械操作をすべて把握している社員(専務)の機械操作を中心に撮影。今回、ビデオ撮影・編集は専門業者に委託したが、当社社員が補佐することで、撮影・編集スキルの習得を進めており、次段階からの自社制作体制の整備を図っている。また、プロジェクト推進全般について、ITコーディネータのサポートを受けている。

5. 差別化戦略・競争戦略

マニュアル活用による早期育成、多能工化

このような事業は、同業他社ではほとんど手掛けていないため、マニュアルを是非とも活用し、人材の早期育成、多能工化を推進していきたい。マニュアル活用の相乗効果として、「教える」「伝える」「チームで仕事をやる」という社内風土の醸成が促進され、社員一人ひとりの能力アップと技術の共有化が会社全体の力となり価格以外での差別化につながると考えている。

6. 成果と今後の課題

マニュアルの優先的使用と質・量の充実

動画マニュアル活用の効果として、人材の早期育成・多能工化の他、ミスの削減や修繕費の削減も期待しており、数値目標を設定している。今後は、19年度上期に検証を行って必要に応じた修正等を行い、その間に新しく受け入れる中国人研修生の教育実習に使用する。その後、現場作業工程についてもマニュアル化を推進していく予定であるが、優先的に使用・改訂し、マニュアルの質・量ともに充実させていきたい。